

コンクリート用骨材

以下に示す粒度や品質は、JIS A 5011-1コンクリート用スラグ骨材
―第1部：高炉スラグ骨材と同等です。

高炉スラグ細骨材

■ 特長

- 粒度調整や塩化物量低減等の目的で他の細骨材と混合使用することが出来ます。
- 潜在水硬性により長期にわたるコンクリート強度の増加が期待できます。
- アルカリ骨材反応を生じる恐れはありません。

種類（粒度による区分）

区分	粒度 範囲 mm	記号	ふるいを通るものの質量分率 %						
			ふるいの呼び寸法 mm						
			10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15
5 mm高炉スラグ細骨材	5 以下	BFS5	100	90～100	80～100	50～ 90	25～65	10～35	2～15
2.5mm高炉スラグ細骨材	2.5以下	BFS2.5	100	95～100	85～100	60～ 95	30～70	10～45	2～20
1.2mm高炉スラグ細骨材	1.2以下	BFS1.2	—	100	95～100	80～100	35～80	15～50	2～20
5～0.3mm高炉スラグ細骨材	5～0.3	BFS5-0.3	100	95～100	65～100	10～ 70	0～40	0～15	0～10

・ふるいの呼び寸法は、それぞれJIS Z 8801-1に規定するふるいの公称目開き9.5mm、4.75mm、2.36mm、1.18mm、600μm、300μm及び150μmです。

品質

項目			規定値
化学成分	酸化カルシウム（CaOとして）	%	45.0 以下
	全硫黄（Sとして）	%	2.0 以下
	三酸化硫黄（SO ₃ として）	%	0.5 以下
	全鉄（FeOとして）	%	3.0 以下
絶乾密度		g/cm ³	2.5 以上
吸水率		%	3.0 以下
単位容積質量		kg/L	1.45以上

・粗粒率、微粒分量、環境安全品質については、JIS A 5011-1でご確認下さい。

上記の熔融状態のスラグを水で急冷し、粒度調整してつくられる骨材の他に、熔融状態のスラグを徐冷した高炉徐冷スラグを湿式で篩分けし、微粒分を洗浄除去したコンクリート用高炉徐冷スラグ細骨材もあります。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。